



理想の子ども数実現へのハードル

- 理想の子ども数の実現について、全体としては経済的な理由が多い。また、妻の年齢が30歳未満では経済的な理由、35歳以上は年齢・身体的な理由の割合が増加。

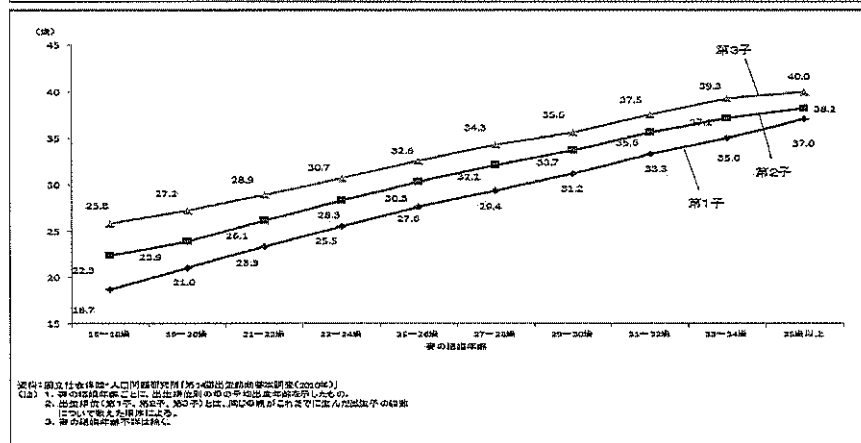
▽経済的な側面

- 非正規雇用の労働者の増加等により、子育て世代の収入は減少。

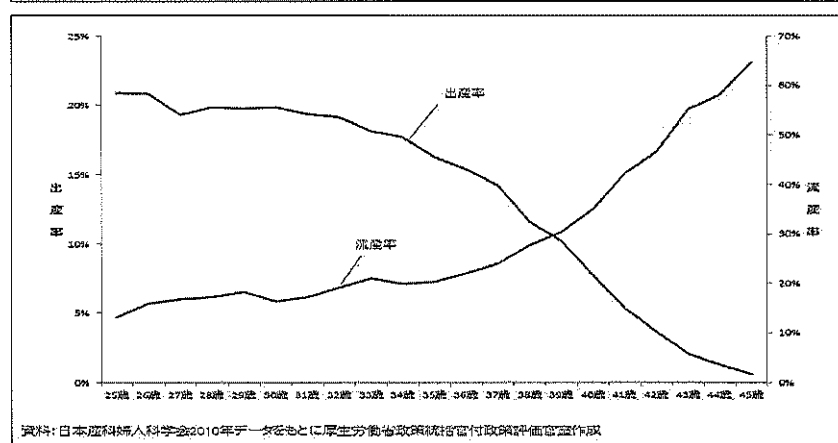
▽年齢・身体的な側面

- 晩婚化の影響で出産が遅れることにより、結果的に希望の子ども数を実現できない状況が見受けられる。
- 妊娠・出産等に関する知識を持った上で、自分のライフプランを考えていくことが重要と考えられる。

出生順位別ごとに見た平均出生年齢(妻の結婚年齢別)



不妊治療における年齢別の出産率と流産率



子育てサービスの充実と男性の育児参加

- 働く女性を中心に、子どもが風邪などの病気にかかった際の保育の充実や、保育所等の利用時間の延長に対する要望が強い。
- 子育ての苦労や課題を夫婦間で共有することが大切。
- 夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降が生まれる傾向。夫の育児参加はわずかながら広がりつつあり、若い世代の積極的な姿勢に期待。